

当HPへのエ-ルに、勇気百倍！かな？

最近、とみに当HPへのアクセス数が増えてきています。アクセスが次第に増えていることは、単にメル友の訪問だけでなく、周りの方にご紹介いただき、私のいわゆる見知らぬ方も訪問くださるからかなと推測できます。

それだけに、当HPは全くの私的なもので、メル友であれば私を知っているだけに何を記載しても、「あゝ、また、勝手気ままな阿部節(?)か」とご容赦いただけるところもあるかと思うのですが、私の見知らぬ方も訪問していると思うと、正直、最近の記事内容に気遣いと不安を抱きつつありました。気遣いをするぐらいなら阿部節(?)ではなくなるので、HPをどうしようと迷いも生じ始めていました。

そうした折り、HPを訪問してくださった方から、次ような初メ-ルをいただきました。

「このHPは、尊敬する、大好きな さんから紹介で覗いてビックリ。雑学・日誌には、常日頃、入院患者として、職員に感ずる事、ボラさんに感ずる事、福祉の場に携わる人達に云いたい事、感じている事が、みんな書いてある事にビックリしています。これからも勉強させていただきますので宜しくお願い致します。」

遠い、遠いある地方の病院に長期入院中の筋ジスの方からのものでした。それだけに、私がHP上で発信し続けていることが「そう勝手気ままな内容ではなさそう」で、このエ-ルにかえて勇気づけられ、更新への迷いもなくなりました。

以前の繰り返しになりますが、これからも、「進歩が止まった時 その人は次の世代に席を譲らなければならない(實篤)」を肝に銘じて留まることなく、「この道より 我を生かす道なし この道を歩む(實篤)」をモチ-フとして、ものごとの本質理解への、私の試行錯誤のプロセスとして、記事等の更新に努めたいと思いますので、これからもアドバイスの程、よろしく申し上げます。

(2003年02月25日 記)